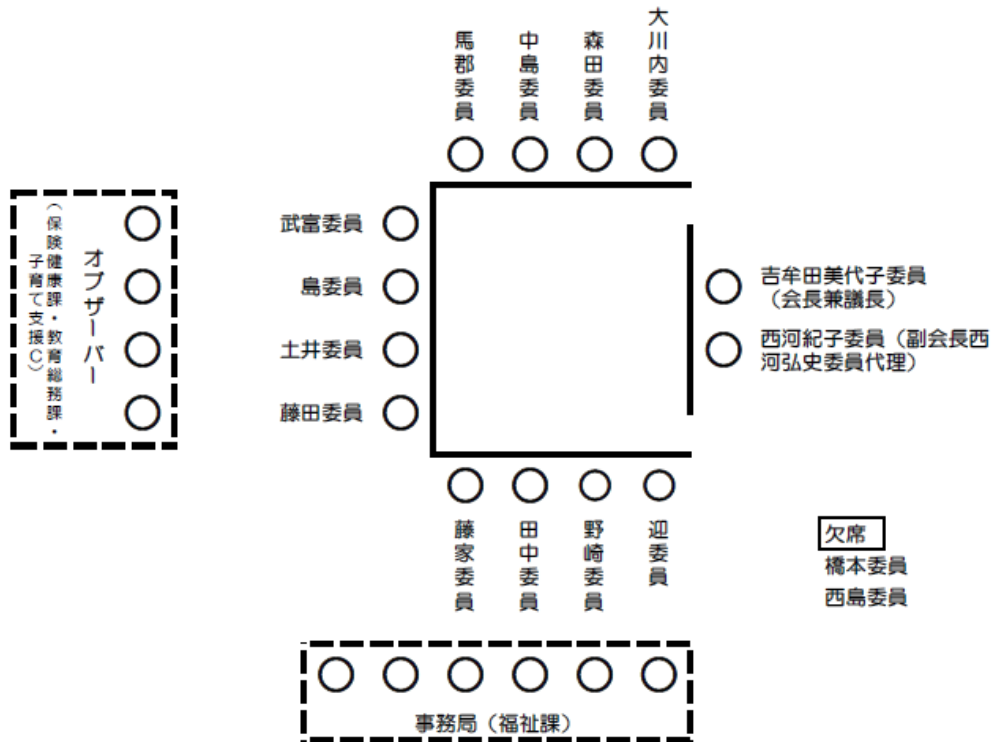


# 令和元年度第1回鹿島市子ども・子育て会議支援事業計画 および子ども子育て支援事業計画策定委員会（議事録）

開催日：令和元年7月1日（月）10:00～11:20

場 所：新世紀センター 2階 会議室



## 1. 開会

寺岡福祉課長補佐 司会進行

## 2. あいさつ

染川福祉課長

「令和2年度から新たに5年間の子育て支援計画を策定する必要があるため開催。総合的・一体的に取り組みながら数回の会議開催を行っていき、委員の皆様と審議しながら計画策定をしていきたい。」

## 3. 委嘱状交付

染川福祉課長より代表して中島委員へ「子ども・子育て会議委員」「子ども・子育て支援事業計画策定委員」の委嘱状を交付。

#### 4. 協議

※協議の前に委員の紹介。その後、互選により吉牟田委員が会長、西河委員が副会長に選出される。

#### (1)鹿島市子ども・子育て支援事業計画

#### (2)次期鹿島市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた取り組みについて

事務局 片渕より説明

Q 量の見込とは？（島委員）

A 今後施設入所等や事業利用における児童数の見込み。なお、保護者の就労状況にも変化していく。

Q 今回の計画の中にある目標で「切れ目の無い子育て支援」と明記してあるが具体的な内容は？（大川内委員）

A 本年4月より生涯学習センターエイブルの保健センター内に「鹿島市子育て総合相談センター」を設置し、保健師や助産師等がスタッフとして専門的見地から妊娠期から子育てまでに掛かる相談支援体制を構築し、開始した為、この目標を掲げた。

Q 第一期の計画時にどのようなことを見直し・課題となっているのか？それをどう改善していくのか？（武富委員）

A 現在、鹿島市において就学児前における教育・保育施設に掛かる待機児童は発生していないが、就学後の放課後児童クラブにおいて昨年度は10名の待機児童が確認されていたところ。今後もそのようなことがないよう児童の受け皿の確保を十分に確保しながら取り組んでいきたい。

#### (3)鹿島市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査の報告について

事務局 片渕より説明

Q 市内には確かに小児科が少なく感じ、待ち時間も長く市外へ通院せざるを得なくなる時もある。また、公園も衛生面で気になるところ。保護者にも改善したところを発信して欲しい。さらに市民交流プラザかたらい利用時も子育て支援の場でありながら、周囲の方から子どもたちが怒られる場面も。施設内には子どもたちが自由に遊べるスペースも少ない感じがする。検討して欲しい。（土井委員）

Q 子育て支援センターの利用人数が増えたのは良いがキャパシティーは十分なのか？もっと質を増やしたいのか？またアンケートをとった上でよくなった点、課題など、ただ報告書では共感になるため、比較も必要だと思う。（島委員）

A 福祉課所管で市内に児童遊園を8箇所管理しており、清掃業務等・遊具点検を委託業務としている。子育て支援センター内は遊ぶスペースが少ないという意見も耳にするので、限られたスペースながらも有効な活用を図っていきたい。なお、当センター内でも「ひろば」を開設し、ママたちの声を聞きながら、子育ての楽しさや不安、悩みなどを共に共感し分かち合うような取り組みを行っている。また、前回の集約結果があるので次回の会議時に示し、今後アンケートなどを取ったら良くなったところを見える化する必要があると感じる。

#### **(4)鹿島市の教育・保育施設および地域子ども子育て支援事業の状況について**

事務局 片淵より説明

- 自身も好日の園勤務であり、その事業所内の託児所を利用していた。託児所内の保育士も急な事情で対応を求められるので、市からも何かしらの補助があれば保護者も子どもを預けやすく、働きやすい職場環境に繋がるのではと思う。また学童保育でもプールの監視の方に付いてもらっていたようだが、一方で利用しない児童の方にも目を向けなければならぬことも出てくるので現場の大変さが伺える。子育て支援については保護者やその支援者と共に課題を解決していかないと改善にはならないと思う。（島委員）

#### **(5)その他**

事務局 片淵より

今年度は本日を含め4回の会議開催を実施予定。万が一、都合が付かなければ代理での出席でも可能なので対応を宜しくお願いしたい。

～ 吉牟田会長、西河副会長は降壇 ～

#### **5. 閉会**

※次回開催は令和元年9月に予定。追ってお知らせします。（事務局より）